



船絵馬

巖島神社

巖島神社は、文化元年に宗谷場所請負人であった藤野喜兵衛が松前から市杵島姫命を奉遷、その支配人である岡田半兵衛が会所前地区に祠を建ててて天社としたのが創祀と言われています。

到達時間 歩/10分



外観



元標



スコトン岬看板と元標

ニシン定置網元標

元標(もとひょう)とは、副標とともに2つ組で利用されるもので、漁業者が海中に設置する定置網(建網)の場所を決めるために利用されるものです。基礎部分には左から魚種、網の種類、許可番号の順に記載されています。

到達時間 車/60分

旅順陥落の碑

鮑古丹神社境内に建立されています。現在、碑面の文字は風化していますが「旅順陥落」の文字が確認されており、日露戦争の戦勝記念として建立されたものです。

到達時間 車/60分



外観



記念碑



旧メノウ浜付近



現メノウ浜付近

柳谷文蔵は青森県東津軽郡旧三厩村の生まれで、明治初めに礼文島へ渡り、尺忍地区の漁場に従事した後、明治4年に元地に移って漁場を開きました。

到達時間 車/15分

旧柳谷文蔵漁場

うえんない 宇遠内 ウエンナイ

ないろ 内路 ナイオロ

きとうす 起登白 キトウシ

久種湖

うえとまり 上泊 ウエトマリ

上泊3遺跡

礼文神社



外観

礼文神社は文久3年頃に、青森県人秋田左吉らが久種湖の神霊を祀るため、湖畔に祠を建てたのが創祀と伝えられています。明治32年までは沼神神社と称していましたが、明治35年に礼文神社へと改称し、明治36年には現在地に社殿が移されました。

到達時間 車/40分

礼文島桃岩付近 一帯の野生植物

礼文町 郷土資料館

金環日食 観測記念碑

観測終了後の昭和29年、観測の偉業を後世に伝えるべく、起登白地区に記念碑を建てられました。しかし、この記念碑は、治山工事のため、巖島神社境内に移設され、新たに日食をイメージした記念碑が建立されました。

到達時間 車/15分



現在の記念碑



旧記念碑

旧ニシン袋澗

袋澗とは、沖合に仕掛けた袋網にニシンがかかった際に、ニシンの入った状態で網を引いてきて、陸揚げするまで一時的に保管しておく場所のことです。

到達時間 車/2分 歩/15分



現在



昭和20年代

礼文島には歴史ある文化財が多数残っています。●到達時間は香深港フェリーターミナルから出発した場合のアクセス情報です。

▼ 遺跡 卍 神社 □ 記念碑 🐟 ニシン漁関係 🚢 香深港フェリーターミナル ◆ 北海道指定天然記念物

